



企業誘致によるものづくり産業の復興

東日本大震災により、本県のものづくり産業は沿岸地域を中心に甚大な被害を受け、地震・津波による直接的な被害とサプライチェーン(供給網)の分断などにより、生産活動に著しい支障が生じました。

県では、被災した企業の再建を支援するとともに、県民生活を支える雇用の場を創出するため、企業誘致によるものづくり産業の集積を促進する取り組みを進めています。

復興へ頑張ろう! みやぎ 県政紹介シリーズ④

県では、本県への投資や立地に関心のある企業に対し、県内の工業団地や港湾・空港・道路などのインフラ状況、優遇施策などについてPRするため、毎年、東京と名古屋で企業立地セミナーを開催しています。今年は、8月22日に宮城県企業立地セミナー in Tokyoを開催し、182社、283名の企業の方々にご参加いただきました。11月18日には名古屋市内でも企業立地セミナーを開催予定です。復興をさらに加速するためにも、今回のセミナーを本県への企業立地に結びつけたいと考えています。これからの地域経済の活性化や新たな雇用創出を目指して、地域経済全体を力強くけん引するものづくり産業の復興に向けた企業誘致活動に取り組んでいきます。



企業誘致の重点戦略

県では、自動車関連産業や高度電子機械産業に加えて、東日本大震災からの県内経済復興のため、グリーンエネルギー関連産業や航空宇宙関連産業、医療・健康関連産業、食品関連産業などの集積を目指していきます。

このため、国において創設された津波浸水地域を対象とした企業立地補助金や県の企業立地奨励金、民間投資促進特区(復興特区)による税制優遇など、企業に対する優遇措置を最大限に活用し、関連企業の誘致を強力に推進していきます。

これまでの企業誘致の取り組み

本県のものづくり産業の中核を成している自動車関連産業や高度電子機械産業は、着実に県内への集積が進んでいます。トヨタグループが昨年7月に関連会社を統合し、小型自動車の生産拠点として、トヨタ自動車東日本を発売させたほか、半導体製造装置大手の東京エレクトロン宮城も、一昨年から操業を開始しています。

また、他にもさまざまな企業に立地を決定していただき、復興にますます弾みがつくものと期待されます。

舞台アグリバージョン株式会社地協定締結式

最近3年間で立地決定した主な企業

企業名	立地市町村	立地協定	操業開始
ジャムコエアロマニョックチャリング	名取市	H22.10	H25.4
スモープジャパン	石巻市	H24.3	H25.7
ボラテック東北	加美町	H24.4	H25.2
宮田工業	栗原市	H24.4	H25.5
サンコー食品	大崎市	H24.6	H27年以降予定
中央精機東北	大郷町	H24.7	H25.12 予定
ウェーブ	仙台市	—	H24.10
サンリット工業	色麻町	H24.7	H24.11
Paltac	白石市	H24.8	H25.12 予定
メークス	白石市	H24.9	H25.9
読売新聞東北本社	大和町	H24.10	H27.2 予定
石巻フーズ	石巻市	H25.4	H27.4 予定
エイムカイワ	亶理町	H25.6	H25.12 予定
舞台アグリバージョン	亶理町	H25.8	H26.4 予定
コバヤシ	大和町	H25.9	H27.4 予定
積水ハウス(※新ライン増設)	色麻町	—	H25.9
YKK AP	大崎市	—	H26.8 予定

民間の力で復興を後押しします

石巻復興へ生活基盤支える

石巻フーズ取締役 大堀晶一さん

飲食店を全国展開しているセリュックスホールディングス(東京)の子会社「石巻フーズ」は、石巻市の沿岸部に食品製造工場を建設する。来年8月に着工し、地元で100～200人の雇用規模で来年中の操業を目指している。

セリュックスホールディングスの大塚啓代表取締役(石巻フーズ代表取締役)が震災直後、現地に入って復興支援物資を届けたのが、石巻と関わりを持つ縁となった。「代表の大塚が人々との交流を通じて、石巻で何かをしなくてはならない、と強く考えるようになりました。石巻には豊富な水産物をはじめ良質な食材がたく

さんあります。弊社のレストランなどに石巻の素晴らしい食材を提供しようと考えたことからスタートしました」。大堀さんは石巻進出の動機を説明した。

工場立地の目的として「地域の復興」を掲げる。「石巻に産業と生活の基盤が必要。規模は小さいですが、工場を立ち上げ、雇用を実現することで石巻を盛り上げることに繋がると考えています」と、基盤確立による復興支援を目指す。

カキなど石巻の水産物を業務用の食材に加工する食品製造のほか、石巻産品の「商流事業」にも取り組む。グループ会社のレストランを含む全国500の飲食店との取引を見込んでいる。

「自社独自の受発注システムを使うことにより、各店舗からの発注アイテムを効率よく取りまとめます。石巻産品、あるいは自社工場の加工品への切り替え、商品提案を目指す。それによって石巻の食材を積極的な世の中に流通させていくことができます」。大堀さんは力強く話した。

復興遂げ 新鮮な製品を供給

東北フジパン代表取締役 宮島敦久さん

名古屋市内に本社のあるパン製造販売大手のフジパングループは、東北への商品供給拠点として岩沼市に系列会社「東北フジパン」を設立、仙台空港岩沼臨空・矢野目工業団地内(岩沼市空港南)に仙台工場を建設し、2011年10月から本格操業している。

グループは全国網の構築を目指していたが、東北にだけ製造拠点がなく関東の工場の製品を流通していた。「東北6県によりフレッシュな製品をお届けしたいという願いが実り、進出することになりました。東北全体への陸路の交通網の便利さ、関東とのつながりやすさなどの点から、岩沼を適地として選びました」と、宮島さんは工場

立地のいきさつを話す。

本来は11年4月に工場を稼働する計画で、ラインの稼働テストまで終え、操業目前にして大津波で被災した。新設の建物、従業員は無事だったが、機械・設備はほぼ壊滅。危機的状況に陥った。

「現地で復興、復興する」という判断が素早かったもので、いち早く再建できたと思います。がれき撤去やライフライン復旧には岩沼市の助けが大きく、宮城県も支援もありました。機械メーカーにも努力してもらいました」。復興を遂げた宮島さんは笑顔を見せる。

大震災の受難はあったが、宮城の良さを再認識している。「東北の広大さをあらためて感じていますが、6県へスムーズに製品を流通できています。交通の利便性が大きい、気候が穏やかで、雪が少ない点も助かっています」

310人の従業員で五つの製造ラインを稼働。主力商品を東北にくまなく供給する。

復興して五つの生産ラインを稼働させ東北一円に新鮮なパンを送り出している東北フジパン仙台工場

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/産業立地推進課 022(211)2733

県からのお知らせ

東日本大震災災害義援金の支給について

全国の皆さまから、県や日本赤十字社などに寄せられた東日本大震災災害義援金は、各市町村を通して、被災された方々に支給されています。

今回、追加配分が決定し、人的被害を受けた遺族または本人、津波浸水区域において半壊以上の住家被害を受けた世帯、半壊以上の住家被害を受けた母子・父子世帯などを対象に、義援金が支給されることになりました。

災害義援金の受け取りには申請が必要です。一度申請すれば、その後は、追加配分の決定に伴って自動的に支給されますので、まだ一度も申請をされていない方は、お早めに手続きをしてください。

なお、申請窓口は、震災当日にお住まいの各市町村担当課となります。

◎各市町村担当課 ☎ 022(211)2516

http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/haibuninukai.html#6

◎県社会福祉課 ☎ 022(211)2516

http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/haibuninukai.html#6

平成25年度みやぎ食育フォーラム

◎内容/基調講演「食育で次世代に伝えたいこと」(講師:東京農業大学名誉教授 小泉武夫氏)、シンポジウム「みやぎの食で伝えられること、伝え合えること」、みやぎ食育表彰式など

◎定員/400人(先着順)

◎日時/11月11日(月)午後1時～4時

◎場所/太白区文化センター楽楽ホール

◎申し込み/11月1日(金)までに、電話またはファクシミリ(申込用紙に必要事項を記入)により下記へ

◎申込用紙・ホームページからダウンロード

◎健康推進課 ☎ 022(211)2637 FAX 022(211)2697

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/

◎県危機対策課 ☎ 022(211)2375

慶長遣欧使節出帆400年記念フォーラム参加者募集

◎内容/基調講演「世界のなかの日本と慶長遣欧使節」(講師:東北大学教授 平川新氏)、ゲストトーク(俳優 中村雅俊氏)、関係各国の大使などによるセッションなど

◎定員/200人(応募多数の場合は抽選)

◎日時/11月1日(金)午後1時30分～4時30分

◎場所/メロリレク仙台

◎費用/無料

◎申し込み/10月15日(火)(必着)までに、往復はがきで住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記係へ(往復はがき1枚につき1人の申し込み)

◎NHKプラネット東北支社内「記念フォーラム」係 ☎ 022(215)1731 FAX 022(215)1733

〒980-0012

仙台市青葉区錦町1-10-11 新平和ビル5F

◎県消費生活・文化課 ☎ 022(211)2527

特別労働相談会の開催

労使間トラブルでお悩みの方に、問題解決の方法を分かりやすく助言します。

◎日時/11月1日(金)午後1時30分～3時30分、2日(土)午前10時～午後3時

◎場所/石巻市保健相談センター

◎費用/無料

◎申し込み/10月31日(木)までに下記に電話

※相談会当日も会場で受け付けますが、相談の順番は事前予約者が優先となります。

◎県労働委員会事務局審査調整課 ☎ 022(211)3787

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tiroul/

多賀城跡巡り

特別史跡の多賀城跡跡と多賀城跡跡について、東北歴史博物館の学芸職員が現地を案内しながら、歴史的意義や見どころなどについて解説します。

◎日時/【廃寺跡コース】10月13日(日)午後1時30分～2時30分、【政庁跡コース】10月27日(日)午後1時30分～3時

◎集合場所/両コースとも、東北歴史博物館1階エントランスホール

◎費用/無料

◎東北歴史博物館 ☎ 022(368)0106

http://www.thm.pref.miyagi.jp/

「犯罪被害者週間・県民のつどい」公開講演会

◎内容/第1部:ふれあいミニコンサート(みやぎ被害者支援センター理事さとう宗幸氏) 第2部:講演「被害者に優しい社会を」(講師:全国犯罪被害者の会あすの会会長 近藤さよ子氏)

◎定員/700人(先着順)

◎日時/11月1日(金)午後1時～4時30分

◎場所/江崎グランドホテル5階鳳凰の間

◎申し込み/10月21日(月)(消印有効)まで

※日程や申込方法など、各記事のより詳しい内容は例にお問い合わせください。アドレスを掲載している記事は、ホームページにも詳しい情報があります。

に、はがき、ファクシミリ、Eメールのいずれかに住所、氏名、連絡先を記入し、または電話により下記センターへ

◎みやぎ被害者支援センター ☎ 022(301)7840 (FAX 共通) 〒981-0914

仙台市青葉区東通南宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7F

Eメール: center-miyagi@kih.biglobe.ne.jp

◎県警察本部(代表) ☎ 022(221)7171

気仙沼高等技術専門学校 再就職訓練(短期課程)受講生募集

◎科名/①IT基礎科②OA基礎科

◎内容/①パソコンの基礎知識および技能の習得②商業簿記、パソコンソフトなどの習得

◎対象・定員/求職活動中でハローワークに相談しており、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる方・各科20人

◎訓練期間/①11月7日(木)～2月6日(木) ②11月26日(火)～2月25日(火)

◎選考日(面接)/①10月24日(木)②11月12日(火)

◎費用/受講料無料、教材費約1万5000円

◎申込期間/①10月17日(木)まで②10月22日(火)～11月5日(火)

◎申込先/お住まいの地域を担当するハローワーク

◎気仙沼高等技術専門学校 ☎ 0226(22)7068

若者サポートステーション出前相談会

◎内容/若年無業者(ニート)とその保護者を対象にした個別相談(参加無料)

◎日時・場所/①10月22日(火)・仙台保健福祉事務所若者サポートステーション

◎東松島コミュニティセンター②10月24日(木)・県東原合同庁舎

◎申し込み/いずれも当日までに①せんだい若者サポートステーション②246)9685③石巻地域若者サポートステーション④0225(90)3671⑤みやぎ若者サポートステーション⑥0229(21)7022へ

◎県雇用対策課 ☎ 022(211)2772

里親を求める運動月間

10月は、里親を求める運動月間です。里親制度は、さまざまな理由で親と一緒に暮らすことができない子どもを自らの家庭に迎え入れ、親に代わって養育に当たっていただく制度です。家庭環境に恵まれない子どもたちが成長していく上では、里親からの温かい愛情を受け、家庭的な生活を送ることが大切であり、里親制度の重要性はより高まっています。子どもたちが、あなたの優しさをお待ちしています。あなたも里親になりたい方は、下記へお問い合わせください。

◎各児童相談所 ☎ 022(211)2531

◎県子育て支援課 ☎ 022(211)2531

「食材王国みやぎ地産地消推進店」復興応援キャンペーン第1弾

みやぎの農林水産物の早期復興に向けて、「食材王国みやぎ地産地消推進店」が、旬の食材を活用した地産地消メニューを用意して皆さんをお待ちしています。

みやぎの恵みをおいしく食べて復興を応援しましょう!

◎キャンペーン期間/10月31日(木)まで

◎特典/抽選で20人の方に、3千円相当の県産品カタログギフトをプレゼント

◎県食産振興課 ☎ 022(211)2814

http://suisinten-miyagi.com/

みやぎ新規大卒等就職面接会

◎内容/企業との面接、職業相談など

◎対象/平成26年3月大学等卒業予定者および既卒3年以内の未就職者

◎日時・場所/10月30日(水)午後1時～4時・仙台サンプラザホール、11月8日(金)午後1時30分～4時30分・アエル5階多目的ホール

◎県雇用対策課 ☎ 022(211)2772

10月は3R推進月間です!

リデュース Reduce 発生抑制

リユース Reuse 再利用

リサイクル Recycle 再生利用

誰でもできる3Rを実践し、環境にやさしい行動をしましょう

快速で便利な日常生活を支える活動の結果、県内では家庭などから、1年間で88万7千トン(東京ドーム2.4杯分)ものごみが発生しています。私たちにできることは、毎日の生活から発生するごみの量を減らすことです。限りある資源を有効に活用するためにも、一人一人がごみの3Rを進めることが大切です。この機会に、環境にやさしい行動をできることから始めてみてください。

3Rを実践してみましょう

簡単に始められる3Rの例をご紹介しますので、この機会にぜひ実践してみてください。

リデュース

日常生活の工夫で、ごみの減量を!

・包装の少ない商品や詰め替え製品などを選んで購入しましょう。

・マイバッグ、マイカップ、マイボトル、マイ箸などを利用しましょう。

・ごみの中の水はしっかり切りましょう。

リユース

繰り返し使うことで、ごみの減量を!

・自分は使わなくても、他の人は使うかもしれません。人にあげたり、リサイクルショップを利用したりしましょう。

・壊れた物でも修理して使えるかもしれません。捨てる前にもう一度考えてみましょう。

リサイクル

ごみの分別をしっかりと行うことで、資源の再利用を!

・ごみを出す時に、ごみの分別をしっかりと行いましょう。

・リサイクルに出す前に、汚れを軽く洗い流しましょう。汚れが多いものはリサイクルできません。

もっと詳しく知っていただくために

県では、3Rの取り組みについて皆さんに知っていただくため、10月11日(金)まで県庁1階ロビーで3Rに関するパネル展示を行っています。また、出前講座を実施し、毎日の生活の中で、ごみの減量を進める方法やヒントをご案内しています。

10月中は毎日!

ラジオCM放送中

東北放送・FM仙台

◎県環境型社会推進課 ☎ 022(211)2649 Eメール: junkan@pref.miyagi.jp

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/

企画/県広報課